

どんぐりのかたち

1-10-1-1 v7

なまえ

おんどくサイン

どんぐりは、木の
たねです。じめんに
おちて、はるになる
とめを出します。

どんぐりのぼうし
を見てみましょう。
うろこのようなもよ
うのものもあれば、
けがはえたような
ものもあります。

ぼうしのかたち
は、木のしゅるいで
ちがいます。ぼうし
をくらべると、どの
木のどんぐりがわ
かります。

(1) 「ちがいます」のいみにあうものをひとつえらび、

きごうに○をつけましょう。

ア そろっています

イ おなじではありません

ウ ふえています

エ きえています

(2) どんぐりはなんですか。ひとつえらび、きごうに○を
つけましょう。

ア はな

イ むし

ウ いし

エ 木のたね

(3) ぼうしのかたちは、なにでちがいますか。
ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) ぼうしをくらべると、なにがわかりますか。
かきましょう。

かきかたのヒント

「わかる。」でおわらせる。

「木」ということばをつかう。

うんどうかいのあさ

I-10-1-2 v7

なまえ

おんどくサイン

うんどうかいのあさ、めがさめると、そとがよくはれていました。おねがどきします。

おかあさんが、あかいはちまきをむすんでくれました。「きつくない。」ときかれて、わたしはくびをたてにふりました。

かがみを見ると、むすびめがせなかのまん中^{なか}でゆれていました。はやくはしりたくなりました。

(1) 「どきどき」のいみにあうものをひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア ねむくなること

イ おなかがすくこと

ウ おねがはやくなること

エ さむくなること

(2) うんどうかいのあさのてんきはもうでしたか。ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア あめ

イ くもり

ウ よくはれていた

エ ゆき

(3) おかあさんがむすんでくれたものはなんですか。ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) かがみを見たあと、わたしはどうおもいましたか。かきましょう。

かきかたのヒント

「うなった。」でおわらせる。

ぶんしょうのことはをそのままつけてよい。

おちばのいろ

I-10-1-3 v7

なまえ

おんどくサイン

あきになると、木
のはのいろがかわ
ります。みどりだっ
たはが、赤^{あか}やきいろ
になります。

なつのあいだ、は
はみどりのいろを
もっています。この
いろが、木^きのたべも
のをつくっていま
す。

さむくなると、み
どりのいろがきえて
いきます。すると、
かくれていた赤^{あか}や
きいろが見^みえてくる
のです。

(1) 「かくれて」のいみにあうものをひとつえらび、
きごうに○をつけましょう。

ア おおきくなつて

イ とんでいって

ウ こおって

エ 見えないようになって

(2) みどりのいろがきえるのはいつですか。ひとつ
えらび、きごうに○をつけましょう。

ア あつくになると

イ さむくなると

ウ あめがふると

エ かぜがふくと

(3) みどりのいろは、なにをつくっていますか。
ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) さむくなると、はのいろはどうなりますか。
かきましよう。

かきかたのヒント

「くく。」でお知らせる。

「いろ」ということばをつかう。

すずむしのこえ

I-10-I-4 v6

なまえ

おんどくサイン

あきのよるに、りんりんとなくむしがいます。すずむしです。

すずむしは、^{くち}□でなくのではありません。はねとはねをこすりあわせて、おとを出^だしています。

なくのはおすだけです。おすは、めすをよぶためにないています。よるはずかなので、こえがとおくまでときま

(1)「とききます」のいみにあうものをひとつえらび、

きごうに○をつけましょう。

ア むこうまでつたわります

イ きえてしまいます

ウ もどってきます

エ 小さくなります

(2)すずむしがおとを出すのは、どこですか。ひとつ

えらび、きごうに○をつけましょう。

ア はね

イ □

ウ あし

エ め

(3)なくのは、おすとめすのどちらですか。

ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4)おすは、なんのためにいますか。

かきましよう。

かきかたのヒント

「うため。」でおわらせる。

「めす」ということばをつかう。

おおきなさつまいも

1-10-1-5 v7

なまえ

おんどくサイン

はただけ、いもほ
りをしました。つる
をもつと、土つちの中なかか
らいもがで出てきま
す。

わたしのばんで
す。つるをひっぱっ
ても、びくともしま
せん。ともだちがう
しろから手てをかして
くれました。

「せえの。」ふたり
でひっぱると、ぼこ
つと大おおきないもが
出でてきました。かか
えると、ずっしりお
もかったです。

(1) 「びくともしません」のいみにあうものをひとつ
えらび、きごうに○をつけましょう。

ア すぐにぬけました

イ すこしもうごきません

ウ おれてしまいました

エ 小さくなりました

(2) わたしがひっぱれないとき、ともだちはどう
しましたか。ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア わらった

イ いってしまった

ウ つるをきった

エ うしろから手をかした

(3) 土の中から出てきたものはなんですか。
ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) いもをかかえると、どうでしたか。かきましょう。

かきかたのヒント

「ゝ」かった。」でおわらせる。

ぶんしょうのことはをそのままつかってよい。

つぎのかたち

I-10-2-I v6

なまえ

おんどくサイン

よるのそらに、月つき
がで出ています。月つきの
かたちは、まいばん
すこしずつかわりま
す。

ほそい月つきのときも
あれば、まるい月つきの
ときもあります。ほ
そい月つきは、ゆみのよ
うに見みえます。

月つきは、じぶんでは
かっているのではあ
りません。たいよう
のひかりがあたった
ところだけが、あか
るく見みえるのです。

(1) 「あたった」のいみにあうものをひとつえらび、
きごうに○をつけましょう。

ア きえてしまった

イ まがった

ウ そこまでとどいた

エ かくれた

(2) ほそい月つきは、なんのように見みえますか。ひとつ
えらび、きごうに○をつけましょう。

ア たま

イ いし

ウ ゆみ

エ はな

(3) 月つきのかたちは、どのようにかわりますか。
ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) 月つきがあかるく見みえるのはなぜですか。かきましょう。

かきかたのヒント

「くから。」でお知らせる。

「ひかり」ということばをつかう。

なわとびのかぞえかた

I-10-2-2 v7

なまえ

おんどくサイン

休み^{やす}じかんに、ゆ
いちゃんとなわとび
をしました。ひとり
がとんで、ひとりが
かぞえます。

「一^{いち}、二^に、三^{さん}…。」

ゆいちゃんのこえが
つづきます。十二^{じゅうに}か
いめで、なわが足^{あし}に
あたりました。

とまったとおもっ
たら、ゆいちゃんは
「十三^{じゅうさん}、十四^{じゅうよん}。」と
かぞえてくれまし
た。わたしは、また
とびはじめました。

(1) 「つづきます」のいみにあうものをひとつえらび、
きごうに○をつけましょう。

ア すぐにとまります

イ 小さくなります

ウ もどってきます

エ とちゅうでやまずにいきます

(2) なわが足にあたったのはなんかいめですか。ひとつ
えらび、きごうに○をつけましょう。

ア 十かいめ

イ 十二かいめ

ウ 十三かいめ

エ 二十かいめ

(3) ひとりがとぶとき、もうひとりは何にをしますか。
ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) とまったあと、わたしはどうしましたか。
かきましょう。

かきかたのヒント

「ゝした。」でおわらせる。

ぶんしょうのことはをそのままつかってよい。

かきのみ

I-10-2-3 v6

なまえ

おんどくサイン

あきになると、かきのみが木^きになります。はがおちても、みはえだにのこっています。

かきには、あまいかきとしぶいかきがあります。しぶいかきは、口^{くち}の中^{なか}がしびれるようなあじがします。

しぶいかきも、ほしておくにあまくなります。ひもにつるして、なぜにあてるのです。

(1) 「しびれる」のいみにあうものをひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア　ぴりぴりしてうごかしにくくなる

イ　あまくなる

ウ　つめたくなる

エ　かたくなる

(2) しぶいかきをあまくするには、どうしますか。ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア　ほしておく

イ　水につける

ウ　やく

エ　こおらせる

(3) しぶいかきは、なににあてますか。ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) はがおちたあと、かきのみはどうなっていますか。かきましよう。

かきかたのヒント

「ゝいる。」でおわらせる。

「えだ」ということばをつかう。

くつのならべかた

I-10-2-4 v6

なまえ

おんどくサイン

げんかんでくつをぬいだら、かかとをそろえてならべます。そうすると、げんかんがひろく見え

ます。ならべるときは、つま先をそとにむけます。つぎにはくとき、足を入れるだけですみます。

じぶんのくつだけではありません。ならんだくつを見ると、あとからきたこもまねをしてならべます。

(1) 「そろえて」のいみにあうものをひとつえらび、きこうに○をつけましょう。

ア ばらばらにして

イ はしをおなじところにあわせて

ウ かさねてつんで

エ うらがえして

(2) つま先は、どちらにむけますか。ひとつえらび、きこうに○をつけましょう。

ア うち

イ 上

ウ 下

エ そと

(3) くつをならべるとき、どこをそろえますか。ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) つま先をそとにむけると、つぎにはくときどうなりますか。かきましよう。

かきかたのヒント

「すむ。」でおわらせる。

「足」ということばをつかう。

あさのてあらい

I-10-2-5 v6

なまえ

おんどくサイン

じゅうがつ
十月になって、水
がつめたくなりまし
た。あさのてあらい
で、みんなが「つめ
たい。」とこえを上
げます。

せんせい
先生が、てあらい
のうたをおしえて
くれました。うたに
あわせて、ゆびのあ
いだまであらいま
す。

うたっているうち
に、つめたさをわす
れていました。おわ
るころには、手が^てぼ
かぼかしてしまし
た。

(1) 「わすれて」のいみにあうものをひとつえらび、
きごうに○をつけましょう。

ア おもいだして

イ こわがって

ウ きにならなくなって

エ いそいで

(2) 先生がおしえてくれたのはなんですか。ひとつ
えらび、きごうに○をつけましょう。

ア うんどう

イ え

ウ てあらいのうた

エ おはなし

(3) あさのてあらいで、みんなはなんといいましたか。
ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) うたがおわるころ、手はどうなっていましたか。
かきましょう。

かきかたのヒント

「ゝいた。」でおわらせる。

ぶんしょうのことはをそのままつけてよい。

きんもくせいのおい

1-10-3-1 v7

なまえ

おんどくサイン

あきのゆうがた、

あまいにおいがして

きます。あたりを見

ても、はなはすぐに

は見つかりません。

きんもくせいの花

です。小さいオレン

ジいろの花が、はの

あいだにかたまって

さいています。

ひとつぶは小さい

のに、においはとお

くまでとどきます。

においで、あきにな

ったことがわかりま

す。

(1) 「かたまって」のいみにあうものをひとつえらび、

きごうに○をつけましょう。

ア ばらばらにはなれて

イ 一つだけのこって

ウ 上からおちて

エ いくつもあつまって

(2) きんもくせいの花のいろはなんですか。ひとつ

えらび、きごうに○をつけましょう。

ア しろ

イ オレンジいろ

ウ あお

エ むらさき

(3) においは、どこまでとどきますか。ぶんしょうから

かきぬきましょう。

(4) においがしてきたとき、あたりを見るとどう

でしたか。かきましょう。

かきかたのヒント

「〜かった。」でおわらせる。

ぶんしょうのことはをそのままつけてよい。

けんかした つみき

I-10-3-2 v7

なまえ

おんどくサイン

そうたくんと、つみきでとうをつくりました。かわりばんこに一つずつみま

あと一つで、せのたかさになるところでした。てがあたって、とうはくずれました。

「そうたくんのせいだ。」といいかけて、やめました。そうたくんが、だまってつみきをならべていたからです。わたしも、となりにすわりました。

(1) 「かわりばんこに」のいみにあうものをひとつ

えらび、きごうに○をつけましょう。

ア　じゅんばんをまもって一つずつ

イ　いちどにふたりで

ウ　いそいでなんども

エ　だまってひとりで

(2) とうがくずれたのはなぜですか。ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア　てがあたったから

イ　かぜがふいたから

ウ　ゆかがゆれたから

エ　つみきがたりなかったから

(3) くずれたあと、そうたくんはなにをならべていましたか。ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) わたしは、さいごにどうしましたか。かきましょう。

かきかたのヒント

「すわった。」でおわらせる。

「となり」ということばをつかう。

くりのいが

I-10-3-3 v6

なまえ

おんどくサイン

くりのみは、とげだらけのいがにつつまれています。とげはかたくて、するどいです。

いがは、みをまもるふくのようなものです。みがじゅくしていないうちは、たべにくるどうぶつをちかづけません。みがじゅくすと、いがはしぜんにわれます。中^{なか}から、ちゃいろのみがおちてきます。

(1) 「ちかづけません」のいみにあうものをひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア えさをあげます

イ そばへよせません

ウ いっしょにあそびます

エ おいかけます

(2) いがのやくめはなんですか。ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア みをあまくする

イ みを大きくする

ウ みをはこぶ

エ みをまもる

(3) みがじゅくすと、いがはどうなりますか。ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) いがのとげは、どんなとげですか。かきましょう。

かきかたのヒント

「〜とげ。」でお知らせる。

ぶんしょうのことはをそのままつかってよい。

かぜのつよいひ

I-10-3-4 v7

なまえ

おんどくサイン

かぜのつよい日^ひ
は、ぼうしがとびそ
うになります。木^きの
はも、くるくるとま
わってとびます。

かぜは、目^めに見^みえ
ません。でも、うご
くものを見^みると、ふ
いていることがわ
かります。

はたのゆれかたを
見^みれば、つよさもわ
かります。すこしゆ
れるときはよわい
かぜ、まっすぐのび
るときはつよいか
ぜです。

(1) 「くるくると」のいみにあうものをひとつえらび、
きごうに○をつけましょう。

ア まっすぐとんで
イ ゆっくりおちて
ウ なんどもまわって
エ ぴたりととまって

(2) かぜがふいていることは、どうすると
わかりますか。ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア 目でかぜを見る
イ 手でかぜをもつ
ウ うごくものを見る
エ いろをしらべる

(3) はたがまっすぐのびるときのかぜは、どんな
かぜですか。ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) かぜのつよさは、どうすればわかりますか。
かきましよう。

かきかたのヒント

「わかる。」でおわらせる。

「はた」ということばをつかう。

ながいかげ

I-10-3-5 v6

なまえ

おんどくサイン

ゆうがた、こうえ
んであそんでいる
と、じめんにながい
かがのびました。

「わたしのかげ、
こんなにながい。」り
くくんが、わたしの
かげをふもうとして
きます。わたしは、
ぱつとよけました。

にげるわたしと、
おいかけるりくく
ん。かげは、はしっ
てもはなれません。
おかあさんがよぶま
で、かげふみをしま
した。

(1) 「よけました」のいみにあうものをひとつえらび、
きごうに○をつけましょう。

ア そのばにたちどまりました

イ 上にとびのりました

ウ しゃがんでまちました

エ ぶつからないようによこへうごきました

(2) りくくんは、なにをふもうとしましたか。ひとつ
えらび、きごうに○をつけましょう。

ア ボール

イ わたしのかげ

ウ はっぱ

エ なわ

(3) かげは、はしってもどうなりますか。ぶんしょうから
かきぬきましょう。

(4) ふたりは、おかあさんがよぶまでなにを
していましたか。かきましょう。

かきかたのヒント

「ゝいた。」でおわらせる。

「かげふみ」ということばをつかう。

あきのそら

I-10-4-1 v6

なまえ

おんどくサイン

あきのそらは、た
かく見えます。なつ
のそらより、あおい
ところがとくにあ
るようにかんじま
す。

なつは、空気の中
に水のつぶがたく
さんあります。だか
ら、そらがしろっぱ
く見えます。

あきになると、水
のつぶがへります。
すみきったそらのた
かいところに、うろ
このようなくもが
ならびます。

(1) 「すみきった」のいみにあうものをひとつえらび、
きごうに○をつけましょう。

ア にごりがなくすきとおった

イ くもっている

ウ くらくなった

エ あつくなった

(2) なつのそらがしろっぱく見えるのはなぜですか。
ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア 空気の中に水の水つぶがたくさんあるから

イ くもがないから

ウ たいようが出ていないから

エ そらがひくいから

(3) あきのたかいそらにならぶくもは、なんの
ようですか。ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) あきになると、空気の中の水の水つぶはどう
なりますか。かきましよう。

かきかたのヒント

「へる。」でおわらせる。

「水の水つぶ」ということばをつかう。

おとうとのくつした

I-10-4-2 v6

なまえ

おんどくサイン

あさ、おとうとが
げんかんでこまって
いました。くつした
が、みぎとひだりで
ちがいます。

一つはあおいし
ま、もう一つは犬の
え。「これでいい。」
そういつて、くつを
はきました。

うちにかえると、
おとうとはくつした
をならべました。お
なじもようを二つず
つそろえました。「あ
したはまちがえな
い。」

(1) 「こまって」のいみにあうものをひとつえらび、
きごうに○をつけましょう。

ア うれしくなって
イ どうすればよいかわからなくなって
ウ いそいではしって
エ ねむくなって

(2) おとうとのくつしたは、どうなっていましたか。
ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア あながあいていた
イ ぬれていた
ウ なくなっていた
エ みぎとひだりでちがっていた

(3) おとうとは、おなじもようをいくつずつ
そろえましたか。ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) おとうとは、あしたどうするといいましたか。
かきましよう。

かきかたのヒント

「〜いった。」でおわらせる。

ぶんしょうのことはをそのままつけてよい。

ばったのあし

I-10-4-3 v6

なまえ

おんどくサイン

草くさの中なかのばった
は、ぴよんととんで
にげます。あしを見み
てみましょう。

まえとまん中なかのあ
しはみじかく、うし
ろのあしだけがなが
いです。うしろのあ
しは、ふとくてちか
らづよいつくりで
す。

ばったは、うしろ
のあしをばねのよ
うにのばしてとびま
す。じぶんのからだ
よりとおくまでとべ
るのです。

(1) 「のばして」のいみにあうものをひとつえらび、
きごうに○をつけましょう。

ア まげてちぢめて

イ おってしまつて

ウ まっすぐにひろげて

エ かくして

(2) ばったのあしで、いちばんながいのはどれですか。
ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア まえのあし

イ まん中のあし

ウ うしろのあし

エ みんなおなじ

(3) ばったは、うしろのあしをなんのように
のばしますか。ぶんしょうからかきぬきましょう。

--	--

(4) うしろのあしは、どんなつくりですか。
かきましょう。

かきかたのヒント

「〜つくり。」でおわらせる。

ぶんしょうのことはをそのままつかってよい。

あさのつゆ

I-10-4-4 v7

なまえ

おんどくサイン

あきのあさ、草の
はに小さな水のつ
ぶがついています。
これをつゆといいま
す。

よるのあいだに、
あたりがひえます。
空気の中の水が、ひ
えたはの上でつぶ
になるのです。

つゆがつくのは、
かぜのないはれた
あさです。たいよう
が出ると、つゆはす
ぐにきえてしまいま
す。

(1) 「ひえます」のいみにあうものをひとつえらび、
きごうに○をつけましょう。

- ア あつくなります
- イ かわきます
- ウ ひろがります
- エ つめたくなります

(2) つゆができるのはいつですか。ひとつえらび、
きごうに○をつけましょう。

- ア ひるのあいだ
- イ よるのあいだ
- ウ ゆうがた
- エ あめのふるとき

(3) たいようが出ると、つゆはどうなりますか。
ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) つゆは、どんなあさにつきますか。かきましょう。

かきかたのヒント
「あさ。」でおわらせる。
「はれた」ということばをつかう。

はっぱのおてがみ

I-10-4-5 v6

なまえ

おんどくサイン

こうえんで、^{おお}大きなおちばを見^みつけました。ちやいろで、かさかさしています。

「これ、おてがみになるかな。」うちにもってかえりました。ほそいえだで、はのおもてに^じ字をかきました。

「おばあちゃんあそびにきてね。」うすいきずが、しろい^じ字になりました。あしたのあさ、ゆうびんうけに入れておきます。

(1) 「かさかさして」のいみにあうものをひとつ

えらび、きごうに○をつけましょう。

ア かわいていておとがする

イ しめっていてつめたい

ウ やわらかくてあたたかい

エ おもくてかたい

(2) なにで字をかきましたか。ひとつえらび、きごうに○をつけましょう。

ア ほそいえだ

イ えんぴつ

ウ ふで

エ ゆび

(3) おちばにかいた字は、なんいろになりましたか。ぶんしょうからかきぬきましょう。

(4) おちばのおてがみをどうしますか。かきましょう。

かきかたのヒント

「^い入れる。」でおわらせる。

「ゆうびんうけ」ということばをつかう。